



令和2年4月17日

園長通信99号

「散歩にでかけよう！」

園長 安達 譲

yuzuru@hijiri.ed.jp

昨日、全国に緊急事態宣言が出ましたが、皆さんいかがお過ごしですか？園ではホームクラスでも20人未満の子ども達が居るだけで、本当に今までに経験したことのないような静かな幼稚園になっていて寂しいかぎりです。ご家庭では元気な子ども達とずっと過ごすのは本当に大変かと思えます。緊急事態宣言が出て、「家に居よう」が様々な場所で言われていますが、それは感染拡大の危機感を持たない（特に若い世代の）皆さんへの呼びかけだと思います。実際、生活維持に必要な外出の中には「生活必需品の買い出し」、「医療機関への通院」などと共に「健康維持の散歩・運動」も含まれています。特に幼児期の子ども達にとってずっと自宅で過ごすことは好ましくありませんし、保護者の方も可愛い我が子とは言え、自宅ですっと一緒に居てはストレスをためてしまいます。しかし、公園に行くと時間によっては結構な混雑で屋外とは言え密集が心配になることもあると思います。（登園も自粛ですが、園庭を人数や時間を制限して公園のように遊び場として提供できないかなあとか思っています・・・）

そんなこともあり、「さんぽにでかけよう」の動画を配信してみました。私自身が4、5年前から山登りにはまったこともあります。我が子が小さい頃に私の両親や兄たち家族も一緒に毎年GWに箕面の山を歩いていました。自然の中を歩いていると身体にいいのはもちろんですが、木々や花や風、鳥の声に心が生き返るような気がします。先月はホームクラスの子と別れ遠足に行ってきたのですが、子ども達自身が自然の中で子ども達自身の中にある「内なる自然」を取り戻しているようにも思いました。又、動画にもありますが、子ども達に伝えたいことは春のこの季節に様々な植物が花を咲かせたり、芽吹いている様子や台風で倒れた木がそれでもまだ新しい枝をまっすぐに伸ばして生きようとしている姿から「生命」や「自分が置かれた場所で懸命に生きること」を少しでも感じてもらえたらと願います。

新型コロナのことが連日報道され、感染しないように、もしも感染を広げないようにということやこれからの生活に不安を感じる毎日ですが、3月の園長通信にも書かせていただいたように、「私たちが耐えてきたことは決して無駄ではありません。」本当に医療が必要な方々をはじめ、誰かの役に立っています。家族で過ごす時間が多くなった今だからこそ、子ども達と一緒に身近な自然に目を向けていただきながら、よい時間を過ごしていただけたら幸いです。